

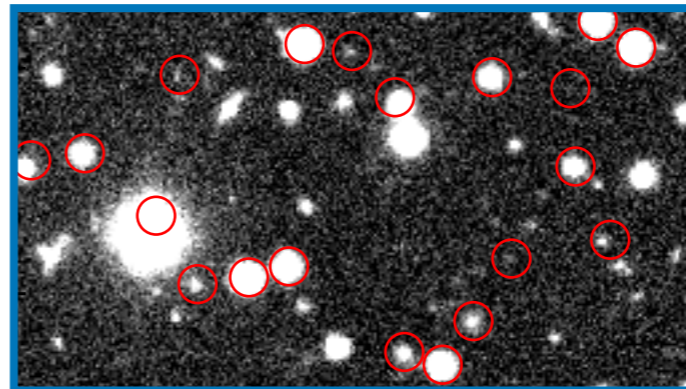
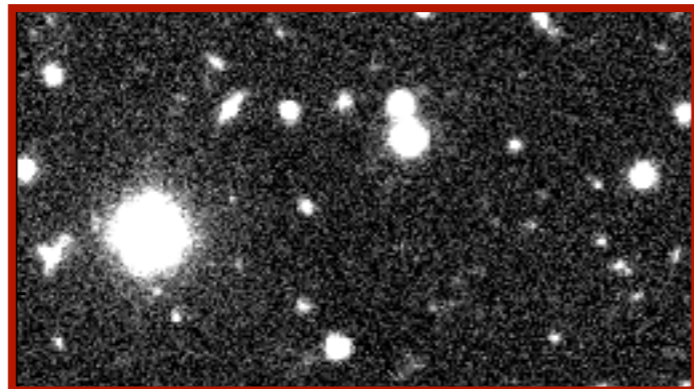
大規模観測データ解析システム 利用者からの意見

総合研究大学院大学 天文科学専攻 D3 伊藤慧

現在の共同利用計算機の利用状況

- 主な利用システム: 大規模観測データ解析システム
- 利用内容: hscpipeによるHSC-SSPの画像の解析
 - 博士課程研究での解析の一貫
 - ライマンブレイク銀河の検出率を推定するため、実際の画像での擬似天体の複数バンドで検出/測光

擬似天体挿入前

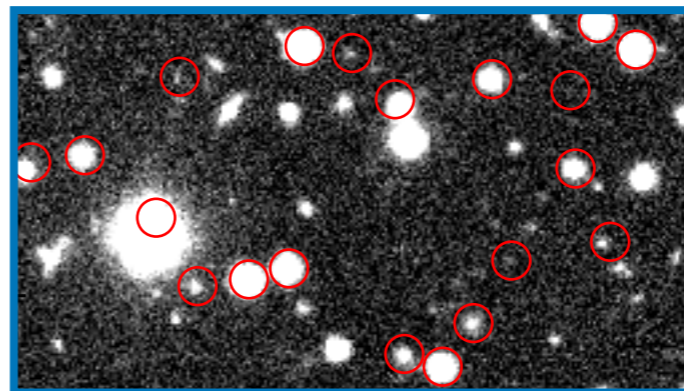
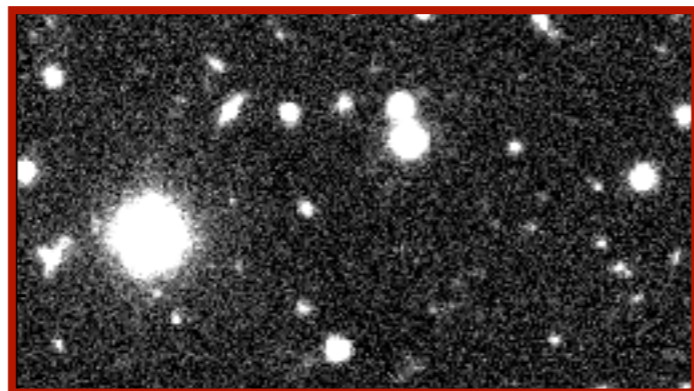


擬似天体挿入後

現在の共同利用計算機の利用状況

- 主な利用システム: 大規模観測データ解析システム
- 利用内容: hscpipeによるHSC-SSPの画像の解析
 - 博士課程研究での解析の一貫
 - ライマンブレイク銀河の検出率を推定するため、実際の画像での擬似天体の複数バンドで検出/測光
 - HSC-SSPと同じ環境下 (e.g., 同じhscpipeのバージョン)で行うことが重要 (e.g., S20Aのデータを用いる場合hscpipe8)。
 - 同じ画像に対して複数回の試行が必要 (1day/1patch*10回)
→個人では構築できない規模のデータ容量/計算機能力が必要

擬似天体挿入前



擬似天体挿入後

大規模観測データ解析システム への要望

- システム構成、計算性能については十分に感じています。
- ジョブの投下方法にも特に要望はありません。
- Hscpipeのバージョンの種類が増えるとありがたいです。
→過去の結果の検証ができるため。
- 多波長解析システムとファイルのやりとりが簡単にできると良いかと思いました。
→大規模観測データ解析システムに搭載されていないソフトウェア(e.g., IDL)もあるため。